



まいだ

平成30年度

8・9月号

平成30年8月27日

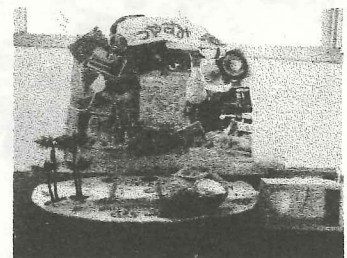
<http://www.educity.yokohama.jp/sch/es/maida/>

まずは、きまりや約束を守ることから…

校長 太田 正寿

夏休みが終わりました。充実した楽しい日々は過ごせたでしょうか。

今日から元気な蒔田っ子といっしょに学校生活を過ごすことができ、とてもうれしく思います。しばらくは暑い毎日が続くと思いますが、熱中症をはじめ体調管理には十分留意し、「やる気いっぱい」「やさしきいっぱい」「元気いっぱい 蒔田っ子」の学校教育目標の具現化に向けて、各学級・各学年で協力し合いがんばってほしいと思っています。



さて、学校生活がスタートするにあたり大切なことは、人として生きるための基本である、「きまりや約束をしっかりと守っていくこと」が不可欠だと思います。

本校も「蒔田小ルールブック」という、子どもたちが学校生活を誰とでも仲良く、楽しく、安心して過ごすために守らなければいけないきまりや約束があります。教職員と子どもたちみんなで内容をきちんと理解し、納得して行動できる一人ひとりに、これからも成長してほしいと願っています。

以前参加した研修会で、子どもたちが学校のきまりや約束を守ろうとする気持ちになる要素は、次の3点があると学びました。

① 教師の存在

子どもたちは、きまりや約束を守れば教師にほめられ、守らなければ叱られます。このようなことを繰り返して、きまりや約束を守ろうとする気持ちを高めていきます。教師が子どもたちとよりよい人間関係を築くことで、大人が示すきまりや約束を守ろうとする子どもたちの意識が高まります。

② 友だちの存在

子どもたちは、友だちに自分がどのように見られているかを意識して行動します。友だちの意見に付和雷同して行動することもあります。お互い注意し合えるような関係や、高め合うことのできる関係をつくっていくことが大切です。

③ きまりや約束の意義

決められたきまりや約束が意義のあるものでなければ、子どもたちの守ろうとする気持ちは高まりません。「どうしてそのきまりや約束が必要なのか？」ということを理解できるように働きかけることが大切です。「きまりや約束を守ることで、どれだけメリットがあるのか？」実感することが大切でしょう。

学校のきまりや約束を守り、生活する子どもたちの力は、学校生活だけでなく、家庭でルールを守ること、地域で約束を守って生活することなど、様々な場面で教えられ、見守られ、身に付いた力です。

「子どもは大人が思うようには育たないが、大人がするように育つ。」

今後も引き続き、学校・家庭・地域が連携を密にし、私たち大人が子どもたちのモデルとなり、「きまりや約束を守る蒔田っ子」へと育ててまいりましょう。また、蒔田小学校だけではなく、蒔田中学校や南太田小学校とも連携を図り、同じ地域の小・中学校がしっかりとスクラムを組み、小中9年間で育てたい子ども像をしっかりと確立・共有し、地域が誇れる子どもたちに育むよう努力して参ります。

今後ともご支援・ご協力のほどよろしく願いいたします。